

3 月 23 日は世界気象デー
— 今年のテーマは、「気候、あなたのために。」 —

世界気象デーとは

世界気象機関（WMO）は、1950 年（昭和 25 年）3 月 23 日に世界気象機関条約が発効したことを記念してこの日を世界気象デーとし、毎年キャンペーンテーマを設けて気象知識の普及や国際的な気象業務への理解の促進に努めています。今年のキャンペーンテーマは、「気候、あなたのために。*」です。

※原文は “Climate for you”

世界気象機関と気候情報

世界気象機関と同機関に加盟する各国の気象機関は、世界的な気象・気候観測のネットワークをつくりあげて、気候変動や地球環境の観測・監視やその予測に貢献しています。世界気象機関は、国連環境計画(UNEP)と共同で 1988 年（昭和 63 年）に「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」を設置するなど、早くから地球環境の問題に取り組んで来ました。2009 年（平成 21 年）には第 3 回世界気候会議を開催して、気候への適応や気候リスク管理のために様々な分野で気候情報の利用を促進するため、「気候サービスのための世界的な枠組み」の構築を決定しました。現在、その実施計画の検討が進められています。

我が国は、世界気象機関からアジア地区の地域気候センターとして指名され、その進んだ技術力を活かして、アジア・太平洋地域の各国気象機関が季節予報や地球温暖化などの気候情報を作成するための支援を行っています。

今後、気候情報がより多くの利用者に使いやすい形で提供されるように、世界気象機関と、気象庁を含む各国気象機関が協力して「気候サービスのための世界的枠組み」を構築していきます。このような気候への関心の高まりと今後の気候サービスの充実への期待を踏まえて、世界気象機関は、今年の世界気象デーのキャンペーンテーマを「気候、あなたのために。」としたものです。

世界気象機関（World Meteorological Organization : WMO）の概要

設立目的	気象業務に関する国際的な調整・標準化・改善や、気象情報の交換促進
設立	1950 年（昭和 25 年）3 月 23 日
事務局所在地	スイス・ジュネーブ
加盟構成員	183 か国・6 地域（我が国は 1953 年（昭和 28 年）に加盟）
ホームページ	http://www.wmo.int/

問い合わせ先： 総務部企画課国際室
電話： 03-3212-8341（内線 2267）